

地域密着型サービス自己評価票

- 指定小規模多機能型居宅介護
(指定介護予防小規模多機能型居宅介護)
- 指定認知症対応型共同生活介護
(指定介護予防認知症対応型共同生活介護)

(よりよい事業所を目指して・・・)

記入年月日
事業所名
事業所番号
記入者名
連絡先電話番号

平成20年 10月 10日
グループホーム円頓寺東館
2370401230
職名 計画作成担当者 氏名 岩田朱美
052-561-5466

(様式1)

自己評価票

| 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 印 (取組んで いきたい 項目) | 取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|--------------------|---|--|-----------------------------------|
| 理念に基づく運営 | | | |
| 1. 理念と共有 | | | |
| 1 | 地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている | 地域に開かれたホーム作りを目指し、縁日への出店を継続しながら地域の方との交流を図っている | ○ |
| 2 | 理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる | ミーティングで理念を掘り下げて職員で話し合い、ケアに活かしている | ○ |
| 3 | 家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる | ご家族、商店街の方々にイベントなどを通じ、伝えている | ○ ケアプランを送付する際、日々の様子を書いた便りを同封している |
| 2. 地域との支えあい | | | |
| 4 | 隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている | 毎日の様に散歩や買い物に出掛け、近隣の方々と挨拶を交わしたり、会話をしている | ○ まだ限られた人ではあるが、ホームへ遊びに来て頂けるようになった |
| 5 | 地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている | 地域の祭り等に積極的に参加し、商店街のゴミ拾いも行っている | ○ |

| 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 印 (取組んで いきたい 項目) | 取り組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|------------------------------|---|--|--|
| 6 | <p>事業所の力を活かした地域貢献</p> <p>利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる</p> | 現在のところ何も出来ていない | <p>○</p> <p>地域との交流を深めていく方法として、地域の高齢者・家族の悩みなどの相談を受けられたと考えている</p> |
| 3. 理念を実践するための制度の理解と活用 | | | |
| 7 | <p>評価の意義の理解と活用</p> <p>運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる</p> | 自己表価、ユニット評価を半期ごとに行い、意欲を高めている | <p>○</p> <p>自己表価を行うことで自己の意欲を高めることができ、ユニット評価ではチームケアの意欲を高めていく事が出来る</p> |
| 8 | <p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこの意見をサービス向上に活かしている</p> | 地域の方々の参加がないので今は月に一度の縁日を運営推進会議の場としている | |
| 9 | <p>市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p> | 現在のところ何も出来ていない | <p>○</p> <p>区役所に出向き、サービスの質の向上に協力して頂けるように話し合っていきたい</p> |
| 10 | <p>権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している</p> | 対応が必要な入居者には支援していきたいと考えている。職員への説明も行っている | |
| 11 | <p>虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p> | ミーティングで高齢者虐待防止法に関して話し合っている | |

| 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 印 (取組んで いきたい 項目) | 取り組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|------------------------|---|---|---------------------------------|
| 4. 理念を実践するための体制 | | | |
| 12 | <p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p> | <p>ケアに関する考え方、取り組み、退去を含めた事業所の対応可能な範囲について説明を行っている。本人・家族の不安に誠実に対応している</p> | |
| 13 | <p>運営に関する利用者意見の反映</p> <p>利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p> | <p>利用者にミーティングに参加して頂き、意見を述べて頂いたり、言葉や態度から思いを察し、対応している</p> | |
| 14 | <p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている</p> | <p>訪問時に話しをしたり、金銭管理についても出納帳のコピーを毎月送付している。</p> | ○ ケアプラン送付時に入居者の状況を知らせている |
| 15 | <p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p> | <p>利用者同様家族の方々にも何でもおっしゃって頂けるようコミュニケーションをとっている。意見・苦情・不満に対しては出来る限りの対応をしていきたい</p> | ○ |
| 16 | <p>運営に関する職員意見の反映</p> <p>運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p> | <p>運営者・管理者は職員の要望や意見を聞き、取り入れる様に努力をしている</p> | ○ |
| 17 | <p>柔軟な対応に向けた勤務調整</p> <p>利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている</p> | <p>入居者の自由を守ることが出来る勤務体制を話し合い、見直しをしている</p> | ○ |

| 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 印 (取組んで いきたい 項目) | 取り組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|---|---|---------------------------|---------------------------------|
| 18 職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている | 基本的には各ユニットの職員を固定化し、顔なじみの職員によるケアを心がけている。新しい職員が入る場合も利用者にきちんと紹介し、不安を減らす努力をしている | ○ | |
| 5. 人材の育成と支援 | | | |
| 19 職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている | 月に一度のグループホーム同士の勉強会、法人内外の職員全員の研修など職員が求める研修を実行している | ○ | 研修報告書の作成もされ、充実されてきている |
| 20 同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている | 市内に連絡会があり、その中で交換研修やスタッフ研修を設けて質の向上に励んでいる | | |
| 21 職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる | 定期的に職員の意見、不満を聞き取る時間を設けている | ○ | ホーム内での具体的な対策を検討中 |
| 22 向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている | 自己表価シートを利用したり、各自仕事の楽しさを感じ、向上心へと繋がっている | ○ | |

| 項 目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 印 (取組んで いきたい 項目) | 取り組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|----------------------------------|--|--|---------------------------------|
| 安心と信頼に向けた関係づくりと支援 | | | |
| 1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応 | | | |
| 23 | <p>初期に築く本人との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている</p> | <p>事前面談で生活状態を把握するように努めると共に利用者本人の求めている事や不安を理解しようとしている</p> | ○ |
| 24 | <p>初期に築く家族との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている</p> | <p>今までの経緯をしっかりと聞かせて頂き、次の段階の相談につなげている。話を聞く事により安心して頂けるよう努力している</p> | 家族シートを作成して頂いた事により具体的に把握出来ている |
| 25 | <p>初期対応の見極めと支援</p> <p>相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p> | <p>利用者と家族が今何を望んでいるかを聞くと共に、可能な限り柔軟な対応を行うが 時には区の介護福祉課などを案内している</p> | |
| 26 | <p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p> | <p>やむを得ず直ぐに入居となった場合にはご家族やそれまで関わった方々に来て頂き安心感を持って頂く。今までの生活習慣を出来る限り変える事なく過ごして頂く</p> | |
| 2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援 | | | |
| 27 | <p>本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p> | <p>介護する側される側と意識を持たず、お互いが協力しながら穏やかに生活している</p> | |

| 項 目 | | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 印 (取組んで いきたい 項目) | 取り組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|-----|---|--|---------------------------|---------------------------------|
| 28 | 本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている | 入居者の思いを大切にし、その為にどのような支援が必要かを家族と連絡をとり、相談している | ○ | |
| 29 | 本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している | 利用者の日頃の状態をこまめに伝え、来訪時には利用者のご家族の潤滑油になるよう心がけている。時にはお茶を飲みながら利用者とのひと時を過ごしてもらっている | | |
| 30 | 馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている | 昔から利用している床屋に行かれている利用者もあり、地域で暮らす友人との交流が出来るよう手助けを行っている | ○ | |
| 31 | 利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている | 個別の話を聞いたり、相談に乗ったりして利用者同士の関係を上手くいくように支援している。相手を非難している利用者の言い分をじっくり聞いたり、傷つかれた利用者のフォローもしっかりとしている | | |
| 32 | 関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている | 今回、サービス終了後の家族からお礼が届き、返信をするというやりとりが出来た | ○ | |

| 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 印 (取組んで いきたい 項目) | 取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|--------------------------------------|---|---|------------------------------------|
| .その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント | | | |
| 1.一人ひとりの把握 | | | |
| 33 | <p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p> | <p>日々の関わりの中で声をかけ、把握に努めている。意思疎通の困難な利用者には日々の行動・表情の情報を職員が共有し、利用者の思いに添えるよう努力をしている</p> | ○ |
| 34 | <p>これまでの暮らしの把握</p> <p>一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている</p> | <p>利用者の語りや家族の訪問時にこれまでの生活の把握に努めている。可能な限り馴染みの暮らしを継続して頂ける様努力している</p> | ○ |
| 35 | <p>暮らしの現状の把握</p> <p>一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている</p> | <p>生活・心理面の視点や出来ない事より、出来る事に注目しその利用者全体の把握に努めている。利用者の表情などから心身状態の把握もしている</p> | ○ 入居者の心身状態の把握をユニットの目標にもあげている |
| 2.本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し | | | |
| 36 | <p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p> | <p>利用者や家族の方には日頃の関わりの中で思いや意見を聞き、反映させている。職員全員で意見交換をしている</p> | ○ |
| 37 | <p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p> | <p>介護計画については職員全員が関わる。利用者の状態の変化・本人の要望に応じて見直しを行っている</p> | ○ 見直し以外の時にも入居者本人との話し合いをするように心がけている |

| 項 目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 印 (取組んで いきたい 項目) | 取り組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|---|---|---------------------------|--|
| 38 個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている | 日々の暮らしの様子、利用者本人の言葉、エピソードなどを記録し、全ての職員が情報を共有すると共に、話し合いもしている | ○ | 記録の大切さをスタッフに指導している |
| 3. 多機能性を活かした柔軟な支援 | | | |
| 39 事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている | 出来るかぎり利用者への柔軟な支援をしていきたい | ○ | 空き部屋がある時は近隣の高齢者の状況に応じてショートステイ等の受け入れをしていきたい |
| 4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働 | | | |
| 40 地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している | 今現在出来ていない | ○ | 中学生、高校生などの職場体験も取り組んでいきたい |
| 41 他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている | 今現在出来ていない | ○ | 地域の他のケアマネジメントセンターと連携を図りたい |
| 42 地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している | 今現在出来ていない | ○ | 権利擁護が必要になった時のためにも地域包括支援センターと協力し、支援していきたい |

| 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 印 (取組んで いきたい 項目) | 取り組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|----|---|--|------------------------------------|
| 43 | <p>かかりつけ医の受診支援</p> <p>本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p> | <p>利用者本人や家族が希望するかかりつけ医になっている。また通院は利用者や家族の希望に応じて対応している。時には通院に家族も同行される</p> | <p>今後は24時間対応の医療機関との連携も考えていきたい</p> |
| 44 | <p>認知症の専門医等の受診支援</p> <p>専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している</p> | <p>必要な方には専門医に受診し、相談に乗って頂いた</p> | ○ |
| 45 | <p>看護職との協働</p> <p>利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている</p> | <p>介護職員が看護職員に気軽に相談が出来る関係が築かれている</p> | ○ |
| 46 | <p>早期退院に向けた医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している</p> | <p>入院によるダメージを防ぐために医師と話しをする機会を持ち、なるべく早く退院できるようにしている</p> | |
| 47 | <p>重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p> | <p>かかりつけ医にも相談し、本人と家族の意思を尊重しつつ、状態の変化があるごとに相談し支援につなげている</p> | ○ 本人との話し合いを度々行い、スタッフ全員で共有し取り組んだ |
| 48 | <p>重度化や終末期に向けたチームでの支援</p> <p>重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている</p> | <p>利用者本人の気持ちを大切にしつつ、家族と話し合い利用者が安心して終末期を過ごして頂ける様に取り組んでいる</p> | ○ |

| 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 印 (取組んで いきたい 項目) | 取り組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|---|--|---------------------------|---|
| 49 住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている | 今のところ住み替えをされる方がいない | ○ | 新しい住まいでもこれまでの暮らしの継続性が損なわれないように情報を提供し連携を心がけたい。入居直前にも情報の確認を行っていききたい |
| <p>・その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</p> <p>1. その人らしい暮らしの支援</p> <p>(1) 一人ひとりの尊重</p> | | | |
| 50 プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない | 職員が意識向上を図ると共に利用者の誇りやプライバシーを損ねないように徹底している | ○ | |
| 51 利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている | 出来るだけ入居者の希望を尊重している。メニュー、入浴の時間、外出などの希望を支援している | ○ | |
| 52 日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している | 基本的な1日の流れはあるものの、一人ひとりの体調に配慮しながら、本人の気持ちを尊重して出来る限り個別性のある支援を行っている | | |
| <p>(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援</p> | | | |
| 53 身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている | 朝の着替えは基本的に利用者本人の意向で決めている。馴染みの理容院、連携のとれている美容院で本人の希望に合ったカットやパーマをしてもらっている | | |

| 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 印 (取組んで いきたい 項目) | 取り組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|-------------------------------|---|--|---------------------------------|
| 54 | <p>食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている</p> | <p>メニューは利用者中心で決めて頂き、調理・盛り付け・片付けも利用者の方々にして頂いている。職員は裏方にまわっている。最近では男性の利用者も快く手伝って下さる</p> | |
| 55 | <p>本人の嗜好の支援</p> <p>本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している</p> | <p>職員は利用者一人ひとりの嗜好品を理解しており、おやつ・飲み物は出来るだけ希望に合わせて、お酒は体調に合わせて飲む機会を作っている</p> | |
| 56 | <p>気持ちよい排泄の支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している</p> | <p>リハビリパンツを使用されていた入居者が布パンツまたは布パンツと尿取りパッドで生活して頂けるようになった</p> | |
| 57 | <p>入浴を楽しむことができる支援</p> <p>曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している</p> | <p>汗をかいたり、排泄後汚れてしまった時にはその都度シャワーを浴びて頂いている。入浴も希望があれば入浴日に関係なくその都度入浴して頂いている</p> | |
| 58 | <p>安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している</p> | <p>なるべく日中の活動を促し、生活リズムを整えるようにしている。寝付けない時にはお茶を飲んだり、話を聞いたり、添い寝をしたりして安心して睡眠をとって頂いている</p> | |
| (3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援 | | | |
| 59 | <p>役割、楽しみごと、気晴らしの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている</p> | <p>食事作り・掃除・洗濯・菜園・裁縫など利用者の力を発揮出来る場面を作り、活躍して頂いている。遠出の外出・行事も利用者中心に考えて頂いている</p> | |

| 項 目 | | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 印 (取組んで いきたい 項目) | 取り組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|----------------|--|---|---------------------------|---------------------------------|
| 60 | お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している | 御自身の財布からお金を出す事で社会性の維持につなげている。利用者一人ひとりの力や希望に合わせて支援している | | |
| 61 | 日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している | 日常的に散歩、買い物などに出掛けている。希望があればデパートや公園などにも出掛けている | | |
| 62 | 普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している | 一人ひとりの希望に沿って支援している。利用者の中には施設長と故郷の福井に行かれた方もみえる | ○ | |
| 63 | 電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている | 利用者が電話をしやすい様に支援をしたり、写真に言葉を添えて家族に送付させて頂いている | ○ | |
| 64 | 家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している | 気軽に訪問して頂ける様に声をかけている。お茶などを出し、ゆっくりと利用者で談笑出来るようにしてもらっている | | |
| (4)安心と安全を支える支援 | | | | |
| 65 | 身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる | 権利擁護や身体拘束に関する知識を伝え、職員の共有認識を図っている | | |

| 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 印 (取組んで いきたい 項目) | 取り組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|----|--|---------------------------|-------------------------------------|
| 66 | <p>鍵をかけないケアの実践</p> <p>運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる</p> | | |
| 67 | <p>利用者の安全確認</p> <p>職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している</p> | ○ | |
| 68 | <p>注意の必要な物品の保管・管理</p> <p>注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている</p> | ○ | |
| 69 | <p>事故防止のための取り組み</p> <p>転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる</p> | ○ | |
| 70 | <p>急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている</p> | ○ | 看護師などによる指導を勉強会の中に取り入れた |
| 71 | <p>災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている</p> | ○ | 出来るだけ地域の人たちに協働を得られるよう交流を持ち絆を作って行きたい |

| 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 印 (取組んで いきたい 項目) | 取り組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|---------------------------|--|--|--|
| 72 | <p>リスク対応に関する家族等との話し合い</p> <p>一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にされた対応策を話し合っている</p> | <p>様々な役割活動や自由な外出により、リスクが高くなるものの、力の発揮や抑制感の無い暮らしが利用者の表情を明るくし、行動障害を少なくしていることを家族にも理解してもらっている</p> | ○ |
| (5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援 | | | |
| 73 | <p>体調変化の早期発見と対応</p> <p>一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている</p> | <p>普通の状態を職員は把握しており、変化が見られた時はバイタルチェックをし、記録をつけている。状況により医療受診につなげている</p> | |
| 74 | <p>服薬支援</p> <p>職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている</p> | <p>処方せんをお薬手帳に貼り、職員が把握出来る様にしている。服薬忘れのないように注意している</p> | |
| 75 | <p>便秘の予防と対応</p> <p>職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる</p> | <p>散歩やおやつに水分の取りやすいゼリー、寒天を使ったものを摂って頂いている</p> | |
| 76 | <p>口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている</p> | <p>食後の口腔ケアの声かけ、入居者の方に口腔ケアの大切さを伝えている</p> | ○ |
| 77 | <p>栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p> | <p>年に3回の食事管理を行っている</p> | ○ 食事の写真、細かい内容を記し、カロリー計算をしている。今現在は概ね基準値である |

| 項 目 | | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 印 (取組んで いきたい 項目) | 取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|--------------------------------|--|---|---------------------------|--------------------------------|
| 78 | 感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等) | 感染症に対するマニュアルもあるが、手洗い・消毒・インフルエンザ予防接種を職員・利用者ともに受けている | | |
| 79 | 食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている | 調理器具、台所の水廻りの清潔。布巾もこまめに取替え、その日使った布巾は消毒している。まな板も同様に消毒している。食材も新鮮さに気を使っている | | |
| 2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり | | | | |
| (1) 居心地のよい環境づくり | | | | |
| 80 | 安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている | 玄関にはプランターやベンチ等を置き、ゆったり出来る工夫をしている。安全性も考え、 | | |
| 81 | 居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている | 茶碗を洗う音、ご飯の炊ける匂い。利用者の方々が好まれている音楽を取り入れている。居間が窓に囲まれているので季節によって日の出・日の入りの時間の变化を感じられる | ○ | |
| 82 | 共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている | テレビの前にソファを置いている | ○ | 居間の配置を考え、共有空間を上手く使いたい |

| 項 目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 印 (取組んで いきたい 項目) | 取り組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|--|--|---------------------------|---------------------------------|
| 83 居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好み のものを活かして、本人が居心地よく過 ごせるような工夫をしている | 利用者の好みによって居室を使用してもらっている。カーペットを使用している方、古い整理箱・細かい小物などを飾られている | ○ | |
| 84 換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のよどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている | 居間は換気に注意し、冷暖房は外気との温度差に注意している。冬場は特に脱衣室にも注意をしている。 温度計も目安に使っている | | |
| (2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり | | | |
| 85 身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活を送れるように工夫している | 手すり、浴室、トイレ、廊下などの居住環境が適切かどうか見直し、安全確保と自立への配慮をしている | | |
| 86 わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している | 利用者本人にとって‘ どうしたら本人の力でやっていただけるか？ ’を追求し状況に合わせて環境整備に努めている | | |
| 87 建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている | ベランダで野菜や花を植えたり、洗濯物を干したりしている。夏の夕涼み、冬の日向ぼっこもベンチにてしている | | |

( 部分は外部評価との共通評価項目です)

| . サービスの成果に関する項目 | | |
|-----------------|--|---|
| 項 目 | | 取 り 組 み の 成 果 (該 当 する 箇 所 を 印 で 囲 む こ と) |
| 88 | 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる | ○ ほぼ全ての利用者の 利用者の2/3くらいの 利用者の1/3くらいの ほとんど掴んでいない |
| 89 | 利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある | ○ 毎日ある 数日に1回程度ある たまにある ほとんどない |
| 90 | 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている | ○ ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない |
| 91 | 利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている | ○ ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない |
| 92 | 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている | ○ ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない |
| 93 | 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている | ○ ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない |
| 94 | 利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている | ○ ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない |
| 95 | 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています | ○ ほぼ全ての家族と 家族の2/3くらいと 家族の1/3くらいと ほとんどできていない |
| 96 | 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている | ○ ほぼ毎日のように 数日に1回程度 たまに ほとんどない |

| 項 目 | | 取 り 組 み の 成 果 (該 当 する 箇 所 を 印 で 囲 む こと) | |
|-----|---|--|---|
| 97 | 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている | ○ | 大いに増えている 少しずつ増えている あまり増えていない 全くいない |
| 98 | 職員は、生き活きと働けている | ○ | ほぼ全ての職員が 職員の2/3くらいが 職員の1/3くらいが ほとんどいない |
| 99 | 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う | ○ | ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない |
| 100 | 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う | ○ | ほぼ全ての家族等が 家族等の2/3くらいが 家族等の1/3くらいが ほとんどできていない |

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

入居者は残存能力を活かして出来ることは自分からされ、また入居者同士が助け合って生活されている。月に一度のごえん市の効果でホーム周辺の方とも打ち解けてみえる。外出なども日常的に行っており、生き生きと生活されている